

事前評価書

年度	28
整理番号	
事業主体	大分県

事業名・路線名等		交通安全事業 一般県道 <small>くにさき あき</small> 国東安岐線 <small>おか</small> つつじヶ丘工区	
所在地		<small>くにさき むさしまち いとほる</small> 国東市武蔵町糸原	
事業概要	事業の目的	歩道整備により歩行者の安全な通行空間を確保する。	
	事業内容	<p>【計画延長・幅員】 L=550m(現拡)、W=6.0(9.75)m 歩道w=2.5m(片側設置)</p> <p>【道路区分】 第3種第3級 【設計速度】 V=50km/h</p> <p>【現況幅員】 W=6.0(7.0)m</p> <p>【交通量】 自動車 6,077台/日(H28実測) 歩行者交通量 29人/12h 自転車交通量 30台/12h(H28実測)</p> <p>【計画交通量】5,700台/日</p> <p>【重要構造物】橋梁1橋(L=13.0m)</p>	
	事業費	C=390百万円	
事業の実施計画	完成予定年	着手から4年(平成32年度)	
	事業段階毎の実施計画	<p>1年目 路線測量・詳細設計・用地測量</p> <p>2年目 用地買収、建物補償、関係機関との協議</p> <p>3年目 用地買収、建物補償、改良工事、橋梁下部工</p> <p>4年目 改良工事、舗装工事、橋梁上部工 完成</p>	
事業の必要性	必要性・緊急性	<ul style="list-style-type: none"> ・法指定通学路に指定されているが歩道が未設置区間であり、通学時間帯に歩行者が集中するため、児童が車道部にはみ出して通行し、危険な状況である。 ・上記の理由により、平成24年度の通学路緊急合同点検の結果、危険箇所が挙げられており、通学路の整備を行う必要がある。 ・死傷事故件数8件/10年(内、歩行者が絡む事故:2件) 	
	整備効果	・歩道整備により、歩行者の安全な通行空間を確保し、安全性の向上を図る。	
事業手法・工法の妥当性	費用対効果分析	・交通安全事業のため費用便益比の算出は困難であり、現状の事故発生状況、道路利用状況、交通の状況等から総合的に判断する。	
	工法の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ルート比較検討により最適ルートを選定。 ・現道拡幅による歩道整備であり、現道路敷を極力活用した計画としている。 	
	コスト縮減	<ul style="list-style-type: none"> ・アスファルト舗装材・砕石路盤材は再生材を使用。 ・居宅の移転補償対象棟数を最小化した。 	
	環境等への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・現道拡幅かつ平坦部であり、地形変化による影響は少ない。 ・発生残土は優先的に他の公共工事へ流用。 ・現場にて発生したアスファルト殻・コンクリート殻は再資源化施設へ持ち込む。 	
事業実施環境	事業の実効性	<ul style="list-style-type: none"> ・地元(糸原地区)より要望書の提出されており、協力体制は整っている。 ・武蔵東小学校より、通学路合同点検時に事業要望が挙げられている。 	
	事業の成立性	<ul style="list-style-type: none"> ・法指定通学路(3号指定)に該当(付近に武蔵東小学校、武蔵中学校がある) ・社会資本整備総合交付金交付要綱に規定された事業内容、採択基準の要件に適合 	
	事業の特殊性	-	
対応方針		・以上のとおり事業の必要性が認められることから、本事業を実施したい。	

事業箇所位置図

